

令和5年度 第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和5年6月28日(水) 11:00~12:00 場所:あやぐも館

2 参加者

学校評議員(五十音順)

井上 恵一(野村石油(株)代表取締役)
熊谷 琢磨(株)フローラルクマガイ代表取締役)
吉川 多賀子(まごころ銀行運営委員)

学校関係者評価委員(五十音順)

大野本 敦(西予市野村支所長)
岡部 一行(城川中学校教頭)
酒井 康次(西予市野村支所産業建設課長)
谷本 英樹(有限会社タニヤ代表取締役)
西田 卓史(野村中学校教頭)

野村高校学校職員

山下 和宏(校長)
一色 卓也(教頭)
濱田 洋光(事務長)
鎌谷 健太郎(総務課)
桑原 恵子(教務課長)
中島 定信(生徒課長)
徳永 裕史(進路課長)
小西 真由子(学校魅力推進課長)
兵頭 宏美(農業科主任)
千羽 孝幸(総務課)



3 次第

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 議題

ア 自己紹介

イ 令和4年度自己評価等説明(教頭)

ウ 各課説明(各課長)

各課長より資料にて説明

エ 意見交換

○皆勤率について

下がっていることは理解できるが、出席の扱いについてはどうなっているのか。新型コロナウイルスでの欠席は出席停止ではなく、欠席扱いになるのか。

→新型コロナウイルスにかかる欠席は出席停止扱いである。

○野村高校との連携について

産業建設課ではホワイトロップンの栽培等で野村高校と交流している。そのおかげで大野ヶ原の農家さん達のやりがいとなっている。大変ありがたい。また、現在人口減少に対して組織的に対応しようとしている。高校とも情報をやりとりしながらも対応していきたい。大学進学率が7割の時代になっているため、地元に残る人はたしかに少ないが、野村高校辺りで地元の企業の就労の募集がどれくらいあるかを知りたい。地元での働き口がないために帰ってこない状況であったり、募集をしても来なかったり、というミスマッチもある。

るようで、今後は上表共有を密にしていきたい。

○県外からの募集の活動について

9月に対面での募集のやりとり等が東京であるようだが、その際は東京の野村会など、各地の同窓会との連携を検討してほしい。

○挨拶について

自分の仕事場の前を通る野村高校の生徒がいつも挨拶をする。素晴らしいことだと思う。朝霧湖マラソン等のボランティアも大変助かっている。また協力いただけると幸いである。

○授業について

公開授業で探求の授業を見学した。大変いい取り組みであると感じた。生徒が自発的に取り組む姿を今後も実現してほしい。

○進学指導について

- ・進学指導の充実にあたっては、面接週間の充実といった柔軟に対応できる取り組みが大変良いと思った。ただ、図書館指導の充実に関しては昨年よりは下がっていることが気になる。短編でもいいので是非読んでほしい。
- ・生徒が落ち着いて自分の課題に取り組んでいる姿を感じた。バイクの通学等の生徒は交通安全にいつそう気をつけてほしい。
- ・朝夕の様子を見ていると、高校生の元気でほがらかな姿が印象的。生徒達がしっかりしていることを感じる。働き方改革という形では生徒の進路を考えると難しいところがあるが、地域に根ざしている高校で生徒が学べる環境の充実に生かしてほしい。

(4) 事務連絡

(5) 校長あいさつ

(6) 閉会の言葉